

Q

祖母から、「明日はオジイのウチチグミーニチ(月命日)だからトートーメーに手を合わせてから仕事に行きなさい」と言われたし、昔から、祖母はトートーメーのことに

Mさん 30代

ミさん 30代

A

Mさんは「琉球・沖縄のしきたり」にあつてとても大切に貴重な経験を積まれていると思います。近年「グミーニチ」という言葉すらあまり耳に

グミーニチとは？

グミーニチの直訳は「ご命日」です。グ(御)オジイが明記されることから、ミ(月命日)の敬語となります。スライジ(首里)の作法・心得に詳しくユタ

の先生方が「グミーニチをスチビ・スチスレ」に「命の日」と言い換えられるのも、その意味合いを理解されていることではないでしょうか。

この本来の意味を知らないとき、グミーニチは「故人さまが死んだ、亡くなった日」と訳される傾向があり、トートーメーの裏札に記載されている死亡年月日を「令和(元号)〇年〇月〇日死」や「令和〇年〇月〇日亡」以下、没・歿・沈などの一文字で表現される形式は、ご寺院のような専門家はあまりありません。琉球・沖縄のしきたりは故人

「死んだ、亡くなった」悲しみの現実のみに留まらず、そこから故人さまの敬い(成仏)に準ずる「グソー(極楽)を願う境地に至る」といいます。

その一例として、トートーメーの裏札には「令和〇年〇月〇日寂(涅槃寂靜)」とか「令和〇年〇月〇日往生(往生成仏)」令和〇年〇月〇日卒(今世卒)」などと表現されることもあります(前者と後者の記載方法に正誤はありません)。

「亡くなった日」と「生きていた最後の日」

この寂・往生などには、ありがたい意味合いがあり、

死亡日を単に「死日・亡日」とだけとらえず、「生きていた最後の日」つまり「命あつた最後の日」(「命日」の語源ともいわれています)。

死生観を参考にすると、死亡日を死の立場から受け止めるのか、生の立場から受け止めるのか、そのような考え方も存在する、ということになります。この後者の考え方は、故人さまが「この世(イチミ)で生きてきた最後の日を迎える」と同時に、あの世(クツツ)に生まれ変わる最初の日に迎えるという「グソー(後生)思想の根拠」となるという説があります。



49歳/綿依龍照

グミーニチとウチチグミーニチ

このグミーニチには、グミーニチとウチチグミーニチがあり、この分類方法では、グミーニチのことを「月命日(故人さまの死亡年月日のうち月と日が該当する命日で1年に1回訪れる)」というウチチグミーニチ

チのことを月命日または月忌(故人さまの死亡年月日のうち、日のみが該当する命日で1年に12回訪れる)といえます。

沖縄では、故人さまの死亡日の月日に合わせてウスーイコ(ご法事をお勧めする傾向が今も残っており言いかえれば「月命日に〇回忌をお勧めされる」ということになります)。一方、ウチチグミーニチは、沖縄本島に承継されにくく、離島に現れている傾向があるという説も存在します。

昨今は「ウチチャート(御茶湯を仏壇朝日十五日以外にお仏壇にウサダ(お供えずと)ウヤフーフジの祟りがある」と、沖縄のしきたりに根拠なく叱責される方々もおられるとか。一方、Mさんのおばあさま以外でも、ウチチグミーニチにお仏壇のおじいさまに手を合わせることに大切さを伝えてくださる方々もおられます。どちらもウヤフーフジを大切に思う、琉球・沖縄のしきたりを大切にすお気持ちに違いはないのでしょ。Mさん、「グミーニチ、グミーニチ」というおばあさまの独り言もいかにしたら、M家みなさまの幸せのお見いかもしれませんね。

令和9(2027)年「琉球寺しあわせカレンダー」プレゼント

毎年頒布、オリジナルカレンダーを先着100名様にプレゼントします。ハガキに、郵便番号、住所、氏名を明記のうえ、下記までご応募ください。

〒904-003 沖縄市山里3-7-1 琉球寺カレンダープレゼント係 (11月30日締め切りで郵送)